

適用規格																													
定 格	使用温度範囲	-55℃ ～ +85℃ (注1)	保存温度範囲	-10℃ ～ +60℃ (注2)																									
	電 圧	AC 100 V	保存湿度範囲	40% ～ 70% (注2)																									
	電 流	0.5 A(信号部) (注3) 3.0A(MF端子部)	使用湿度範囲	相対湿度85%以下 (但し結露の無いこと)																									
性 能																													
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT																								
構造	外観, 構造及び仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○																								
	表示	目視にて確認する。		○	○																								
電 氣 的 性 能	接触抵抗	100 mA (DC 又は 1000 Hz) で測定する。	信号部 : 90 mΩ以下 MF端子部 : 30 mΩ以下	○	—																								
	絶縁抵抗	DC 250 Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	—																								
	耐電圧	AC 300 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—																								
機 械 的 性 能	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。	△1 <table><tr><td></td><td>40芯</td><td>60芯</td><td>80芯</td></tr><tr><td>差込力(N以下)</td><td>30</td><td>40</td><td>50</td></tr><tr><td>引抜力(N以上)</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr></table><table><tr><td></td><td>100芯</td><td>120芯</td><td>140芯</td></tr><tr><td>差込力(N以下)</td><td>60</td><td>70</td><td>80</td></tr><tr><td>引抜力(N以上)</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td></tr></table>		40芯	60芯	80芯	差込力(N以下)	30	40	50	引抜力(N以上)	3	4	5		100芯	120芯	140芯	差込力(N以下)	60	70	80	引抜力(N以上)	6	7	8	○	—
		40芯	60芯	80芯																									
	差込力(N以下)	30	40	50																									
	引抜力(N以上)	3	4	5																									
		100芯	120芯	140芯																									
差込力(N以下)	60	70	80																										
引抜力(N以上)	6	7	8																										
繰り返し動作	500 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗: 信号部 100 mΩ以下 MF端子部 40 mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—																									
耐振性	周波数 10 ～ 55 Hz, 片振幅 0.75 mm, 1 サイクル 5 分間 3 軸方向 各 10 サイクル試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—																									
耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸両方向各 3 回試験する。		○	—																									
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40±2℃、湿度 90～95%中に 96 時間放置する。	① 接触抵抗: 信号部 100 mΩ以下 MF端子部 40 mΩ以下	○	—																								
	温度サイクル	温度 -55 → +85℃ 時間 30 → 30 分を 5 サイクル試験する。 (槽の移し変え時間は2～3分)	② 絶縁抵抗: 1000 MΩ以上 ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—																								
	二酸化硫黄	濃度 25 ppm、25±2℃ 75±5%RH 96 時間放置する。 (試験規格: JIS C 60068)	はなはだしい腐食がないこと。	○	—																								
	はんだ耐熱性	リフローの場合: ピーク温度 MAX260℃ 220℃以上 60秒以内	外観の変形及び端子などに著しい ガタがないこと。	○	—																								
		はんだごての場合: こて温度 360℃ はんだ付け時間 5 秒以内		○	—																								
はんだ付け性	はんだ温度 240±3℃, 浸せき時間 3 秒間のはんだ付けを行う。	はんだ浸せき面の 95 %以上が 新しいはんだでぬれていること。	○	—																									
△の数		訂正記事	設計	検図	年月日																								
△1	1	DIS-F-006131	TH. SANO	KI. HIROKAWA	12. 03. 28																								
備考 注1. 通電時の温度上昇を含みます。 注2. ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。 注3. 1端子当たりの定格電流となります。全端子に通電する場合は0.4Aで使用してください。 試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。			承認	HS. OKAWA	10. 06. 03																								
			検 図	KI. HIROKAWA	10. 06. 03																								
			担 当	KT. DOI	10. 06. 03																								
			製 図	KT. DOI	10. 06. 03																								
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目			図番	SLC4-332232-00																									
HRS	製 品 規 格 表		製品名	FX18-**P-0.8SH																									
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL579	△1 1/1																								